広報 高山の文化

No.197 2018.4.4 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877

メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org

文化情報番組「すばらしき文化の和」●HitsFM(76.5MHz)水曜AM9:30より放送中

観光ポスター「高山祭」
玉賢三 1993年制作

平成三十年度『豊かな心を育む文化』

一般社団法人 高山市文化協会
会長 小林 浩

日頃は会員の皆様はじめ市民の皆様には、一般社団法人高山市文化協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会は、市民の皆様に身近なところで文化に触れていただける機会を提供し、日々の暮らしを心豊かに過ごすことができる社会を目指しています。そのためには、質の高い魅力あふれる文学・美術・芸能・音楽などの文化芸術が必要であると考えています。そこで高山市と当協会では、文化芸術鑑賞事業をはじめ各種展示会などの事業を通して、高山市の文化活動の活性化につながる取り組みを行っています。

こうした事業を着実に実施するためには、当協会会員の加入促進と指定管理施設の健全運営などによる財政基盤の確立、そして市民の皆様のニーズを的確に把握することが必要であると考えます。

長年取り組んできた「新しい高山市民文化会館」の建設計画につきましては、今までに集積したデータを分析・検討し、当協会が考える「高山市にふさわしい文化会館」の構想をまとめていきます。なお、今後も建設実現に向けて引き続き募金活動を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

さて当協会では、本年度から新たに「私のあしながおじさん事業」を実施します。これは経済的な理由により文化芸術鑑賞の機会が少ない児童・生徒の皆さんに、少しだけ手を差し伸べることを目的としています。若い世代にも文化活動に関する理解を深めてもらい、そのすそ野が広がることを期待しています。

また、昨年度まで映画劇場「ワンコインシアター」を開催してきましたが、今年度はこれをさらに充実して、幅広い年代の方々に気軽に映画を鑑賞していただけるよう、高山市民文化会館小ホールで月に一度の映画会「ワンコインシネマ」を開催し、映画文化の存続に務めます。

高山市文化協会は、昭和二十四年に設立され、来年創立七十周年を迎えます。今まで築いてきた実績を振り返り、これからの文化活動を創造する記念の年にするためにも、本年度はその準備に取り掛かります。

平成三十年度も、長年継続してきた事業の向上と発展はもとより、会員の皆様と市民の皆様のご理解とご協力を得て、高山市の文化の一層の発展に努めてまいります。

高山市文化協会 会員募集

～高山の文化を一緒に支えてください～

高山市文化協会は、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様とともに地域の文化振興と発展に寄与することを目的として設立されている一般社団法人です。ぜひご入会していただき、高山の文化を応援してください。

- ◆入会資格 どなたでもご入会いただけます。
- ◆年会費 個人3,000円、団体6,000円、賛助(企業)10,000円
- ◆特典① 毎月発行する広報「高山の文化」を郵送します。
- ◆特典② 高山メセナメイトと同様の会員資格(チケット優待、メセナメイトツアーへの参加、年4回のメセナメイト会報の送付)が得られます。なお、団体会員は2名分、賛助会員は3名分の会員資格を有します。
- ◆特典③ 団体会員は、発表会などの告知や団体の紹介記事などの掲載及び、Hit's FMでの広報を行うことが出来ます(要申込)また、毎年6月頃に開催する「高山文化フォーラム」へ参加いただけます。
- ◆特典④ 会員のみ参加できる研修旅行や講演会などが有ります。

「岡目一目」

新入社員たちが働きだした。就職戦線は以前の氷河期と比べると売り手市場で、どこもどの職種も人手不足で困っている。

医師不足も深刻で、岐大や名大の病院でも時間外一〇〇時間超や一五〇時間という例もあった。患者を救う前に医者が過労で倒れる。

二人に一人がガンという時代。周囲を見渡すと、本当にガンの人が多くなった。もはやガンは特殊ではない、ごく普通の日常。

かつて不治の病いと言われた結核は、ストレプトマイシンなどで治るようになった。小児麻痺はポリオワクチンで防げる。iPS細胞など、医学の進歩でガンも結核並みになりつつあるようだ。

昔は医師のことを国手と呼んだ。良い響きである。「医」の字の中の「矢」は病魔に立ち向かう国手の破魔矢。その心は愛のキューピット。

なんて言ってたら、「ガン検診、愛する家族への贈りもの」という市の保健センターからの手紙が来た。

行こう。新入社員達も検診はしっかり受けよう。

〈ガンモンモ筆〉

高山市文化芸術鑑賞事業 ○主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ○お問い合わせ (一社)高山市文化協会(tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

世界が注目する、奇跡のミュージカル。

わらび座 WARABIZA

平成30年 **5/20**(日) 午後3時30分開演 午後3時開場

久々野公民館ホール(JR久々野駅裏)

チケット料金(税込) 全席指定 〔一般〕2,000円 〔メセナメイト会員〕1,500円 〔ジュニア(18才以下)〕500円

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333 久々野公民館 tel.0577-52-3112

チケット好評発売中

第1回高山会場の様子

平成30年 **6/14**(木) 午後2時開演 午後1時30分開場

こくふ交流センター さくらホール(JR飛騨国府駅前)

チケット料金(税込) 全席自由 〔一般〕1,000円 〔メセナメイト会員〕500円 〔ジュニア(18才以下)〕無料

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333 さくらホール管理事務所 tel.0577-72-4480

4/7(土) チケット発売

東京楽所

平成30年 **7/1**(日)〈午後開催〉

こくふ交流センター さくらホール

チケット料金(税込) 全席指定 〔一般〕3,000円 〔メセナメイト会員〕2,500円 〔ジュニア(18才以下)〕500円

チケット発売 5月12日(土)午前10時～

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333 さくらホール管理事務所 tel.0577-72-4480 飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

松竹大歌舞伎

平成30年 **7/18**(水) 午後6時開演 午後5時30分開場

高山市民文化会館 大ホール

チケット料金(税込) 全席指定 〔一般〕S席7,000円/A席5,000円 〔メセナメイト会員〕S席6,500円/A席4,500円 〔ジュニア(18才以下)〕S・A席共通1,000円

チケット発売 5月19日(土)メセナメイト先行発売 午前10時～ 一般発売 午後1時～

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333 飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

秋川雅史&オーケストラアンサンブル金沢

平成30年 **9/29**(土)〈夜開催〉

高山市民文化会館 大ホール

チケット料金(税込) 全席指定 〔一般〕4,000円 〔メセナメイト会員〕3,500円 〔ジュニア(18才以下)〕1,000円

チケット発売 7月7日(土)メセナメイト先行発売 午前10時～ 一般発売 午後1時～

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333 飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

●料金など未確定の箇所もございますが決まり次第「広報たかやまの文化」にてご案内いたします。 ●タイトル、料金、開演時間、チケット発売日などは変更となる場合があります。

ワンコインシネマ(予定)

高山市民文化会館 小ホール

全席自由 500円(年度共通券)

チケット10枚(5,000円)購入で+1枚の[テンコイン割]あり。

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333

SING

平成30年 **6/23**(土) ①午後2時～ ②午後7時～

スパイダーマン・ホームカミング

平成30年 **7/16**(祝月) ①午後2時～ ②午後7時～

ティファニーで朝食を

平成30年 **5/16**(水) ①午前10時～ ②午後2時～

パッセンジャー

平成30年 **8/2**(木) ①午後2時～ ②午後7時～

いつまたきみと 何日君再来

平成30年 **8/3**(金) ①午後2時～ ②午後7時～

怪盗グルーのミニオン大脱走

平成30年 **8/4**(土) ①午後2時～ ②午後7時～

(作品未定)

平成30年 **9/15**(土) ①午後2時～ ②午後7時～

高山の文化を高めた人々

「表千家茶道教授 林千代子先生を語る」

淺野晶子

高山では、昭和三十年から四十年にかけて茶道が大変な盛り上がりをみせました。当時、独身女性の心得として、茶道や華道を習う事が常識のように思われていました。こうした時代、表千家茶道教授として多くの弟子を育てられたのが、林千代子先生です。

高山で林先生と言えば、女傑で教育者であった林フジ先生があまりにも有名ですが、千代子先生はその実妹にあたります。

林家は、金森家お抱えの刀剣の研師を家業とし、金森家移封（一六九二年）後も高山に残り連綿として続いた家柄で、千代子先生は、林家の次女として明治三十九年十月に生まれました。

弟は家督相続直前に早世しましたが、姉フジは既に教員の道を歩み始めており、先進的な教育者として知られていました。その後上京して教育者の道を探求し、市川房枝女史らと親交をもちました。

千代子先生は、姉を頼って上京し、芝・増上寺の事務員として働き職場結婚しました。結婚生活は順調に進むかと思われましたが、婚家の空気に馴染めず離婚、高山に帰り両親と同居しました。そして両親の介護のかたわら茶道の道に入り、資格者となると近隣の子ども達向けに「お行儀会」を作り、自宅で茶道教室を始めました。

京都大原の茶会にて（前列左:千代子先生）

昭和53年 千代子先生（中央）と共に

五十歳を過ぎてからも茶の湯の道をさらに究めたいとの思いが強く、丸万百貨店（マルエム百貨店）を営む平田志つ女史が、留学青少年の指導を行うために京都下鴨に開いた学生寮に寄宿し、表千家家元の内弟子となることができました。

ここでの修行研鑽の結果、昭和三十三年に茶道教授最高位の「乱飾り（みだれかざり）」の直伝を授けられ帰郷しました。当時の高山には「乱飾り」を相伝した教授者はおられず、自宅を開放して指導にあたられました。

京都での修行中にたくさんの人脈に恵まれ、相国寺派管長（金閣寺住職）・大津厂堂老師、千家流織元・大坂有香代さんなどと帰郷後も交流が続き、弟子たちを連れて京都の茶会に招かれることも有りました。また、紫野大徳寺三玄院の月釜も、千代子先生が席主として献茶されました。

茶の湯の指導では、一挙手一投足、細かな所作、お手前のしぐさに至るまで指導され、茶道の根本は「一期一会」「報恩感謝」の心を育てるにある、との信念のもと、社中（喜千会）を立ち上げられました。そして昭和四十二年、市内の皆様のご協力を得、大覚寺管長の染筆をいただき、庭師都竹抱石氏に大江石を寄贈いただいて、国分寺に茶筅塚を建立しました。

この碑は、「和敬清寂の原点に還ることを昂揚し、茶道を志すもの流派来歴を問わず、報恩感謝の心を育てなければならない」と示しており、毎年開催される法要茶会によって、五十年後の今日まで一度も休むことなく伝えられています。

国分寺茶筅塚

千代子先生は、昭和四十七年七月、実姉フジ先生を見送られた後、独居を続けながら子弟の指導にあたり、平成六年七月、八十七歳の天寿を全うされました。

高山をはじめ、小坂、古川、下呂などで指導を受けた方々、また飛騨から遠くに縁づいた方々の心に、千代子先生は今も生き続けています。

『道伝えの日』【4月21日㈯・22日㈰】道伝え茶会・新春飾り物秀作展

「道伝え茶会」は、平成十七年の高山市文化伝承館開館当初から行っている恒例行事です。

とかく難しいものと思われがちな「お茶」を、気軽に楽しみ親しんでもらう事を目的に開催しており、広く市民の皆様にご来場いただいています。この機会にご来場ください。

今回は、売茶流高仙会と表千家斐太好友会のお点前です。また、併せて一月に開催した「新春飾り物展」の入賞作品も展示します。皆様のお越しをお待ちしております。

◇**会場**　高山市文化伝承館

◇**アクセス**　福田薬局向かい「正雲寺坂」を上る。又は、城山照蓮寺横の階段を下る。

※伝承館駐車場は台数に限りがありますので、照蓮寺横駐車場又は城山公園駐車場をご利用ください。

［道伝え茶会］

・二十一日（土）
　煎茶席　売茶流高仙会

・二十二日（日）
　抹茶席　表千家斐太好友会

○**時間**　午前十時～午後四時（午後三時までに入席）

○**料金**　呈茶券三百円（当日券有）。文化会館及び市内茶舗にて販売中

［新春飾り物秀作展］

干支「戌」と歌会始のお題「語」をテーマにした入賞作品と飾り物同好会の参考作品を展示します。

○**時間**　午前十時～午後四時

○**料金**　無料

第42回 飛騨文芸祭作品募集

一、応募資格

飛騨三市一村に在住か在勤、出身の方

二、対象作品

平成二十九年八月十六日から平成三十年八月十五日までに創作または発表した作品（既発表作品も可）

①小説、戯曲、児童文学等
四百字詰原稿用紙百枚以内
一篇

②随筆（エッセイ）等
四百字詰原稿用紙二十枚以内
一篇

③評論
四百字詰原稿用紙三十枚以内
一篇

④現代詩
三篇

⑤短歌、俳句
十首（句）

但し高校生以下は五首（句）

※必ず、規定の篇（首・句）で応募してください。超えても不足しても審査の対象となりません

三、応募方法

①自主応募②団体や結社等による推薦（推薦用紙は適宜）

○応募作品に、小説・戯曲・随筆・現代詩などの区別を明記し、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入（メールによる応募も可）

○高校生以下の応募者は、学校名と学年を明記

○封筒に「文芸祭応募」と記入

○既発表作品の場合は、印刷物またはコピーによる提出も可

○対象作品中①、②、③の入賞作については、デジタルデータを提出していただきます

四、応募締切

平成三十年八月十五日（当日消印可）

五、送付先

〒五〇六-〇〇五三 高山市昭和町二丁目一八八-一（一社）高山市文化協会 事務局宛

メールの場合 mail@takayama-bunka.org

六、審査

高山市文化協会文芸部委員と文芸部門より選出の役員で予選し、最終審査は、必要に応じ専門の経験者を加えることがあります

七、発表

十月中旬に入賞者へ通知、広報「高山の文化」等に掲載

八、賞

文芸祭賞
一人　賞状及び副賞
江夏美好賞（小説のみ）
一人　賞状及び副賞
入賞（高山市長賞ほか）
十人　賞状及び副賞
青竜賞【高校生以下】
若干名　賞状及び副賞

九、その他

応募作品は返却しません

十、問合先

高山市文化協会（TEL 三四-六五五〇）

（一社）高山市文化協会　平成30年度事業計画

月　日	事　業　名	内　容　・　場　所
毎月開催	理事会･評議員会	
随時開催	三役会	
随　時	市長と語る会	
〃	国内･国外他都市との文化団体の交流	
〃	創立70周年記念事業の決定	事業内容の検討及び決定
通　年	高山市近代文学館の研究･調査	高山近代文学館の研究･調査資料収集
〃	指定管理受託	文化会館、文化伝承館、国府文化ホール（共同管理）、松本家住宅、宮地家住宅
〃	高山市文化協会組織強化	高山市文化協会･メセナメイト会員随時募集
〃	ホームページ	文化会館･自主事業･文化協会事業案内
〃	自然環境保護事業	自然保護事業の取り組みについて
〃	初心者入門講座の開設継続	初心者入門講座の開設継続
〃	広報発行	月1回程度発行　事業案内･作品募集･事業報告･団体会員の紹介等
〃	新 市民文化会館建設推進運動	市民啓発･募金活動
随　時	高山市文化伝承館「道伝えの日」	4/21･22道伝え茶会･飾り物展 10/6お月見歌会、11/17芭蕉忌句会
5月8日	松竹大歌舞伎プレセミナー	文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
5月20日	ミュージカルKINJIRO	〃　久々野公民館
5月29日	平成30年定時社員総会	平成29年度決算総会
6月2･3日	高山文化フォーラム2018	高山市民文化会館　芸能･展示
6月14日	たかやま歌声広場inこくふ	文化芸術鑑賞事業　こくふ交流センター
6月17日	第18回市民歴史散歩	清見方面
7月1日	雅楽　東京楽所	文化芸術鑑賞事業　こくふ交流センター
7月18日	松竹大歌舞伎　中村芝翫	〃　文化会館大ホール
8月23日	文学碑掃苔	文学散歩道整備･清掃
9月29日	秋川雅史･オーケストラアンサンブル金沢	文化芸術鑑賞事業　文化会館大ホール
10月5日～7日	日本板画院東海支部高山展	高山市民文化会館　4階大会議室
10月12日	稲垣潤一コンサート	文化芸術鑑賞事業　文化会館大ホール
10月20･21日	第29回　近代文学館企画展	高山市図書館「煥章館」
11月6日	林家たい平爆笑寄席	文化芸術鑑賞事業　丹生川文化ホール
11月14日	三人芝居「男の純情」	〃　文化会館小ホール
11月29日	桃源郷寄席	〃　久々野公民館
11月下旬	飛騨文芸№42	第42回飛騨文芸祭入賞作品集発行
毎月1回以上	ワンコインシネマ（シネマウィーク他15日間）	文化芸術鑑賞事業　文化会館小ホール
平成31年 1月1日	新年市民互礼会･文化功労者顕彰 飛騨文芸祭入賞者表彰	ひだホテルプラザ 第42回飛騨文芸祭入賞者表彰式
1月18日～20日	飾り物展	高山市民文化会館　3階講堂
3月9日･10日	第30回　近代文学館企画展	高山市図書館「煥章館」
3月16日	近代文学館講演会	〃
3月下旬	平成31年 定時社員総会	平成31年度予算総会
未定	文化協会特別展	高山市民文化会館　3階講堂
〃	会員研修旅行	先進地･施設研修

※この他にもいくつかの事業を予定しています
※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください

高山市文化芸術鑑賞事業

ワンコインシネマのご案内 500

「シネマウィーク」として、3日連続で人気映画の上映を行います。

高山市民文化会館 小ホール
①午後2時～②午後7時～
全席自由 500円（年度共通券）
チケット10枚（5,000円）購入で+1枚の「テンコイン割」あり。
※開場は各回30分前からです。
※メセナメイト割引はございません。
プレイガイド
高山市民文化会館
tel.0577-33-8333
チケット好評販売中

(C)2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会

平成30年 4/10 火　2016年10月公開 宮沢りえ主演

(C)2016 Warner Bros. Entertainment Inc. and Ratpac-Dune Entertainment LLC. All rights

平成30年 4/11 水　2016年9月公開 トム・ハンクス主演

(C) 2016 Columbia Pictures Industries, Inc. and Village Roadshow Films Global Inc. All Rights Reserved.

平成30年 4/12 木　2016年8月公開

松竹大歌舞伎 プレセミナー開催

7/18（水）の「松竹大歌舞伎」開催に先立ち、古典芸能解説者の葛西聖司氏に、歌舞伎の鑑賞の仕方と演目の見どころについて、楽しく解説していただきます。入場には整理券が必要です。4/3（火）から文化会館窓口で配布いたします。ぜひお越しください。

平成30年 **5/8** 火　午後7時開演　午後6時30分開場

高山市民文化会館 小ホール

◇入場無料　◇要整理券　◇全席自由

※整理券は文化会館にて4/3（火）から配布します。

解説　**葛西聖司**（古典芸能解説者）

東京都生まれ、中央大学法学部卒業。NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオのさまざまな番組を担当してきた。現在はその経験を生かし、歌舞伎など古典芸能の解説や講演、セミナーなどを全国で展開。執筆活動も続け、著作も多い。